

うおーくらりー in 日野宿 2015 (第64弾)

例年、新選組まつり二日目の日曜日に開催していた「うおーくらりー in 日野宿」を今回は5月9日の土曜日に開催しました。土曜日の日野宿を盛り上げようと、地元の有志により日野宿応援隊も結成され、発見隊もこれに呼応したものです。

あいにく開始前から小雨が振り出し、かなり状況は厳しいものがありました。開始時刻の10時より前から、スタート地点の「ギャラリー&カフェ大屋」前には、傘をさして待つ参加者の皆さんの行列ができていたのには本当に驚きました。

日頃の行いがよかったのでしょうか、やがて雨もあがり、参加者の数があれよあれよと増えていき、なんと昨年よりも100名ほど多い420名と大変な盛況振りでした。

今回の特製缶バッジは「選之介」でしたが、胸にバッジをつけて宿内を楽しそうに歩く皆さんの姿をみて、土曜日に開催するリスクも考えられただけに、準備した事務局としてはホッと旨をなでおろしたところです。

なお、今回はボランティアの方や職員応援隊など、約45名のご協力えて開催することができました。心より感謝申し上げます。



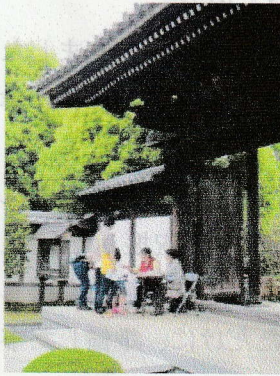
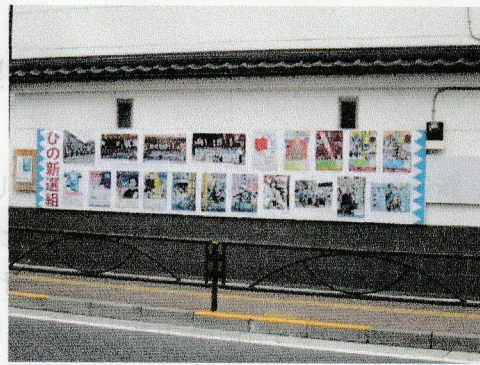
雨にもかかわらず長蛇の列が！



日野駅前



井上源三郎資料館前には
パラソルが必要でしたね



歴代の新選組まつりのポスターを展示。松本保さん撮影の「日野中学校で開かれた運動会のと
きの仮装行列」の写真（新選組）も特別掲載
されました。

大昌寺の山門下は絵になりますね。

*なお、もうすぐ新選組まつりということで、4月29日、日野宿発見隊メンバー3名で1時間ほど用水清掃に取組ました。いつもよりはゴミが少なかったように思いますが、淀みから免許証やカードが出てきたのには驚きました。偶然通りかかったお巡りさんに渡しましたが、盗難されたものだとしたら困ったものです。

日野用水であそぼう（第65弾）

7月25日（土）午前9時半から11時半まで、新東光寺地区センター前の日野用水で水辺にすむ生き物観察会を行いました。

幼児から5年生まで児童21名と、その保護者及びスタッフを含めて、合計34名の参加がありました。あいにく田んぼの方は水が遮断されているため、3グループとも用水をフィールドにして行いました。

2グループは、待ち受ける谷さんと今回特別参加の実践女子大生？さんがもつ大網めがけて追い込み班が追い込みます。その獲物はオイカワ、カマツカ、コイ、カワムツなどでした。オイカワは元気がよく、勢い余って水槽から飛び出してしまうほどでした。



さあ、ゆっくり追い込んで！



35度を超える炎天下子どもたちは元気、元気

1時間ほど奮戦したあと、桜の木の下、涼しい場所に移って、鶴田先生からレクチャーを受けていた時のことです。なんとオイカワのメスから卵が出てきてしまったのです。ピンクの小さな粒が卵とのことでした。あとで、川にリリースしてあげたのですが、ちょっとかわいそうなことをしてしまいました。



オイカワのオス (上) とカマツカ (下)

網やバケツを片づけたあと、地区センターに戻り、冷えたオレンジでのどを潤し、そのあと川の生き物の本を紹介してもらい、最後に日野宿発見隊特製のバッジをお土産にもらい解散となりました。

去年は8月の開催で雨にたたられてしまいましたが、今年は天気もよく、34名もの参加者があり、とてもにぎやかな1日となりました。



鶴田さんから生き物についてレクチャーを受ける子どもたち

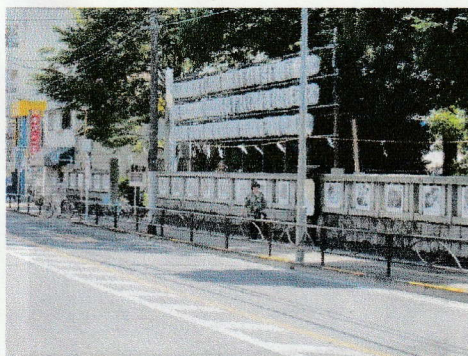
八坂の祭り写真展（第66弾）

8月31日（月）より10月1日まで、八坂神社の玉垣、竹間家フェンス、森町消防器具置場の壁面に、明治から平成に至る八坂神社の祭りの写真を展示しました。

玉垣に25点、竹間家フェンス5点、森町消防器具置場の壁面に15点。計45点を展示中です。新たに製作された1枚と、昨年撮影された写真7枚が含まれています。



森町消防器具置き場



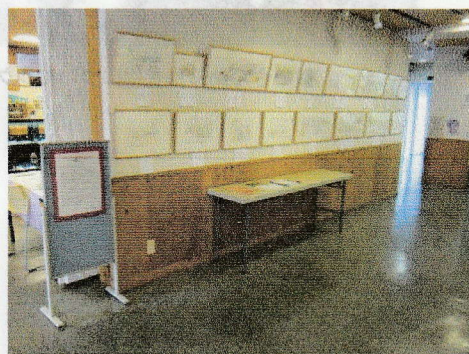
八坂神社玉垣

おめでとう移動図書館ひまわり号

—市立図書館開設50周年記念展示—（第67弾）

1台の移動図書館ひまわり号が日野市内を巡回し本の貸し出しを始めたのが、昭和40年9月21日のことでした。「いつでも どこでも だれでも」本が借りられるようにと、来る日も来る日も走り続け、今年満50年。

日野宿発見隊では、今日の日野市立図書館の礎を作ったこのひまわり号にスポットをあて、9月29日（火）から10月31日（土）まで、日野宿交流館1階通路にて、絵本『移動図書館ひまわり号』（石嶋日出男・作 広田美穂・絵）の原画と、当時の貸し出し風景を撮った写真の展示を開催しました。





産業祭りで桑ハウスの特別公開（番外編）

11月15日（日）、午前10時から産業まつりにあわせて、桑ハウスの特別公開がありました。これは日頃より当施設の保存運動に取り組んでいる仲田の森遺産プロジェクトを中心とする団体等と日野市の共同事業として行われたものです。

日野宿発見隊からも加地代表と事務局から1名が協力参加しました。昨日からの雨も上がり、日差しももどり、産業まつりに来場した多くの人たちが立ち寄ってくれました。4時までに子どもも含めて644人の参加がありました。

日頃はなかなか入ることができない桑ハウス。

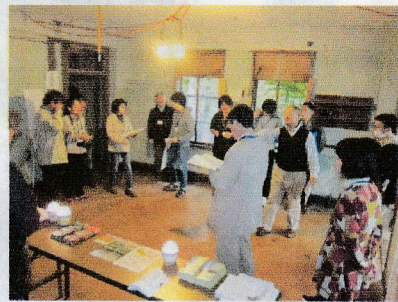
中がどんな風になっているのかと気にかけていたの。

おばけはでない？とお父さんの手をつかみながら入っていく子どもたち。

生きたカイコはいませんよね？あれダメなんです。なんて聞いてくるお母さん。

昨年と違い1階部分のみの公開でしたが、予想をはるかに超える参加者でしたが、これだけでも楽しい反応でした。

80年も前の桑ハウスですが、日野の産業史にとって価値のあるこの施設。これからも大切な文化財として保存に向けた流れになって欲しいものです。





明星大学星友祭で移動図書館ひまわり号とコラボ

(第68弾)

10月31日(土)、移動図書館ひまわり号といっしょに明星大学の星友祭に参加しました。

雨天のため中止となった10月11日のこどもまつりでしたが、今回50回目となった星友祭に、奇しくも図書館開設50周年を迎えた日野市立図書館が招かれたのを機に、日野宿発見隊も同席させていただいた次第です。日野宿からはかなり離れた程久保地区ですが、大学生や地域の人たちに日野宿発見隊の日頃の活動を紹介したいとの思いからでした。

参加者は日野宿発見隊5名(事務局:日野図書館職員2名含む)と実践女子大生1名、ボランティア1名でした。図書館からは中央図書館職員3名と委託の運転手さん1名でしたが、午後には館長も姿を見せてくれました。

高台に建つキャンパスだけに北寄りの風はかなり冷たく感じましたが、雨にもならず地域の子どもたちや親御さんたち、また図書館学を学んでいるという学生さんたちとの交流ができました。また、屋内にセッティングされた日野宿発見隊の活動を紹介する展示コーナーでも、ひまわり号のパネルとともに見学される来場者の姿がありました。

それにしても、寒いなかでも夢中になってひまわり号の塗り絵や工作に熱中するこどもたちには頭がさがるばかりです。



初代ひまわり号
特製缶バッジ



図書館まつり日野宿発見隊製作の 「初代ひまわり号」特製缶バッジを配布（番外編）

11月28日（土）、午前10時からイオンホールで開かれた日野市立設立50周年記念「図書館まつり」の会場で、来場した子どもたちに日野宿発見隊製作の「初代ひまわり号」特製缶バッジを配布しました。青色・黄色・ピンクの3種類の缶バッジ322個を用意しましたが、スタッフ分も含めてすべてなくなりました。終了間際に訪れた子どもたちに渡せなかったほどです。少なく見積もっても270人以上の子どもたちがまつりに来てくれました。大人の皆さんも含めるとかなりの参加でした。

図書館50年を祝うこのまつりに、日野宿発見隊としてもお役にたててうれしい限りです。

しかし、50年はあくまでも通過点です。これからも日野市立図書館が市民にとっての図書館であり続けることを心から願いたいですね。



ひまわり号の塗り絵や工作に来てくれた子どもたちに特製缶バッジがプレゼントされました

まち歩き会「谷仲山・川辺堀之内方面を訪ねて」

(第 69 弾)

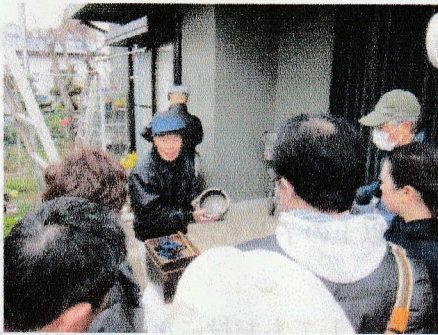
3月26日(土)、日野宿発見隊第69弾まち歩き会を開催しました。参加者は応募者9名とスタッフ7名、現地解説者は谷富二さん、谷正幸さん、伊藤稔さん。

日野図書館を出発した午前9時頃はちょっと肌寒かったものの、コースの後半には日差しも出てきて、ほころび始めた桜の花をめでながら、確かな春の訪れを感じた半日でした。

今回のコースは久しぶりの谷仲山と日野宿から一歩出て川辺堀之内方面を訪ねました。

神明社までは日野宿発見隊で展示している写真を見ながら、この地域の移り変わりを学びました。神明社では満開のコブシの下にニリンソウが咲き出していました。

この後、用水沿いに歩いて谷戸地区に。ここから谷戸の古老、今年米寿を迎える谷富二さんに案内していただきました。



講中の鉦などを解説してくださる
谷富二さん



分銅やのこぎりなどの古道具
谷正幸さん宅にて

谷さんは日頃から精力的に活動されているだけに、結局、川辺堀之内まで同行していただき、地元についての興味あるお話をしていただきました。

足腰が弱ったなどと言われていましたが、まったくその言葉とは違いその健脚ぶりに参加者一同脱帽でした。



伊藤稔さん



川辺堀之内のケヤキの古木

川辺堀之内については、現在進められている区画

整理事業組合の理事長伊藤稔さんに、延命寺と村の鎮守日枝神社を案内していただきました。特に延命寺の文明2年(1470)銘の板碑と日枝神社の樹齢300年というムクノキの大木。日野宿とは一味違った川辺堀之内の歴史を知るまち歩き会となりました。



日枝神社のムクノキの大木



帰りがけに見た旧川崎街道
を示す看板

ただ残念なことに、この地区は現在区画整理事業が進行中で、前回訪ねたころの日野の原風景といわれたのどかな景色は姿を消しつつあるようにも思えました。

日野市立図書館
 〒201-8527 (〒04-0000) 平塚27
 〒201-8528 (〒04-0000) 平塚28
 日野市立図書館 日野市立図書館 日野市立図書館
 電話 042-881-0167
 日野市立図書館HP: <http://hinoshikan.com>